

# VPC-WX5EA

## フルHDビデオ・オーディオ・クロスコンバータ

### SDI/HDM to SD/HDMI スケーリング対応

# 取扱説明書



August 29, 2025

**ほこりや湿気が多い場所では使用しない**  
禁止

ほこりや湿気は、ショートの原因となり、発熱、火災や感電の原因となります。

**内部に水や異物を入れない**  
禁止

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

**雷が鳴りだしたら使わない**  
禁止

本体やプラグには触れないでください。感電の原因となります。

**ぬれた手で触らない**  
禁止

ぬれた手で電源ケーブルのプラグや、コネクタに触れないでください。感電の原因となります。

### 注意 設置について

- 不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品が故障したりする原因となります。
- 電源コードやケーブル類は整理して配置してください。足を引っかかると、けがや製品の故障の原因となります。
- 風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風口がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

### お手入れについて

- お手入れの際には、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンセントに接続したままだと、感電や故障の原因となります。
- お手入れの際、シンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電源ケーブルをコンセントから外してください。

### 個人情報の取り扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の製品のサポートの実施
- 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
- ※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供する場合があります。
- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
- 懸賞企画等で当選された方への賞品の発送

## ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点等がございましたら、MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポート TEL: 078-265-1552 FAX: 078-265-1550  
月曜～金曜: 10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝日および 当社指定休日をのぞく

### ご注意

- 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- 本書の内容や仕様は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが一、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら、当社までご連絡ください。
- 運用した結果については、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があつたとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁止します。
- MEDIAEDGEはMEDIAEDGE株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

### 安全にお使いいただくために

本製品を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。

- 警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を招くおそれのある内容を示しています。
- 注意** 取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。

- 注意** は注意を促す事項を示しています
- 禁止** はしてはいけない行為を示しています。
- 強制** はしなければならぬ行為を示しています。

### 表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

### 注意

#### 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、体に異常を感じる方がいます。本製品の運用にあたっては、十分留意してください。

**電源コードを傷つけない**  
禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけないでください。また、コードを折り曲げたり加工したりしないでください。電源コードを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

電源コードが腐んだら、使用を中止し、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

## 保証規定

- 本機の保証期間は3年間です。
- 保証をお受けいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要があります。
- ユーザー登録を行っていただく、保証書がダウンロードできます。
- 保証期間の開始日は、当社出荷日を起点に翌々月1日より3年間となります。
- 取扱説明書に記載の注意事項や使用方法に反した使用方法による故障に関しては保証できません。
- 本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。本機を日本国以外で使用した際の故障に関しては保証できません。

### ユーザー登録方法

パソコンやスマートフォンなどから登録サイトにアクセスしていただき、製品のシリアルナンバーを入力してください。  
<https://www.mediaedge.co.jp/support/user>  
シリアルナンバーは、製品またはパッケージに貼付されています。MEから始まる10桁のシリアルナンバーを入力してください。

### サンプル:



## 内容物

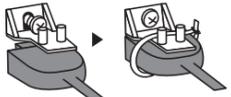
VPC-WX5EAには以下のものが含まれています。

- ・ VPC-WX5EA本体 × 1
- ・ 専用ACアダプタ (日本国内仕様) × 1
- ・ 取扱説明書 × 1
- ・ ケーブルクランプ (HDMIケーブル用) × 2

※ケーブル類は付属しませんので別途購入をお願い致します。

### ケーブルクランプ使用方法

ネジをゆるめて、クランプをはさみ、ネジを締めて固定します。クランプ本体とHDMI / USBケーブルをバンドで固定します



## 接続

本機とほかの機器との推奨接続順序は以下のようになります。

1. 本機から付属のACアダプタを取り外します。
2. 本体のDIPスイッチにてご使用になる設定を選択します。BoxCenter Proで設定を行う場合は、DIPSWをUSBモードとして、事前にBoxCenter Proで設定しておきます。
3. 出力先の機器を出力端子へ接続します。
4. 入力元の機器を入力端子へ接続します。
5. 出力先、入力元の機器の電源を入れます。
6. 本機に付属のACアダプタのケーブルを接続します。

## 特徴

### SDI to HDMI / HDMI to SDI 両方の変換に1台で対応

- ・3G/HD/SD-SDI出力に対応
- ・HDMI 1.4b 入出力 (対応カラーフォーマット: RGB/YUV444/YUV422)
- ・3G/HD/SD-SDI入力およびアクティブバスルー出力
- ・SDI/HDMI同時出力可能 ※同じフォーマット・フレームレートの信号遅延最大2フレーム ※フレームバッファ・バイパスモードは非搭載

### 映像処理機能

- ・解像度アップ・ダウン変換機能
- ・フレームレート変換
- ・アスペクト変換機能
- ・SDI入力同期モード ※Ref入力端子による外部同期機能には非対応

### 複数の音声インターフェースの入出力に対応

- ・SDIエンベデッドオーディオ、HDMIオーディオ、LINE、XLR、AES、S/PDIF、マイク入力 (Mic)、ヘッドホン出力 (Headphone)
- ・音声入力 (①-⑤から選択)
- ① HDMI、② SDI、③ AES/XLR、④ Line/SPDIF、⑤ Mic
- ・音声出力 (①-⑤同時出力)
- ① HDMI、② SDI、③ AES or XLR、④ Line or SPDIF、⑤ Headphone out
- ・HDMI/SDI 音声 8ch
- ・XLR、Line、AES、S/PDIF、Mic in、Headphone out 各 2ch
- ・入力音声は48kHzヘリサンプル

### 音声処理機能

- ・音声チャネルリマッピング機能
- ・音声ダウンミックス機能 (最大8chまでの平均化方式)
- ・入力音声ディレイ機能 (最大100msec)
- ・音声入出力レベル調整機能 (入力側 Gain設定、出力側 Volume設定)

### その他

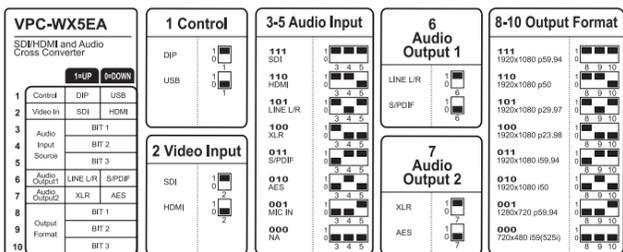
- ・寸法 W: 210 mm D: 84mm H: 38.5mm
- ・ACアダプタ給電 (12V, 2A) ねじ止め式ACアダプタによる安定給電 (USB給電には非対応)

### 使用例 SDI/HDMI信号へのオーディオ・エンベデッド / デンベデッドとしての利用

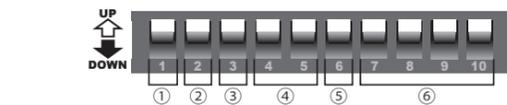


## パネル

### ボトムパネル



## DIPスイッチ



① USBコントロールモード (UP: DIPスイッチモード / DOWN: USBコントロールモード)

コントロールモード	DIPSW [1]
ディップスイッチ制御モード	UP ↑
USB制御モード	DOWN ↓

※ディップスイッチ制御モードで設定できる機能は限られています。USB制御モードにてBoxCenterProで設定ください。

※DIPSW[1]をUSB制御モードに設定した場合  
 ・本機の全ての設定をUSBから行うことが可能です。  
 ・DIPSW[2]～[10]の設定は使用されません。  
 ・設定内容は電源をOFFにしても保持され、電源起動時に使用されます。

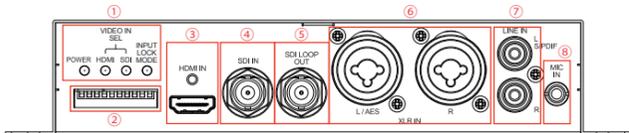
※DIPSW[1]をディップスイッチ制御モードに設定した場合  
 ・DIPSW[2]～[10]の設定が即時に使用されます。  
 ・DIPSW[2]～[10]にて設定可能な項目はUSBから設定できません。

※DIPSWモードの時は、音声Router設定は、DIPSWの音声入力の選択 (Audio Input Source) で選択された音声入力が設定されます。BoxCenterProで設定できるRouterモードは使用できません。

## パネル

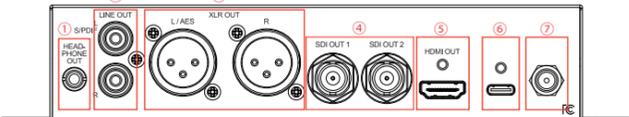
### フロントパネル

① ステータスLED	機器・SDI入力信号の状態を表示します。
② ディップスイッチ	各種設定を行います。
③ HDMI入力	HDMI入力用の端子です。
④ SDI入力	3G/HD/SD-SDI入力用の端子です。
⑤ SDI入力バスルー	SDI入力のアクティブバスルー出力用の端子です。
⑥ XLR/AES入力	アナログXLR音声 (L/R)、AES音声入力用の端子です。
⑦ LINE/SPDIF入力	アナログLINE音声 (L/R)、S/PDIF音声入力用の端子です。
⑧ マイク入力	マイクホン音声入力用の端子です。



### リアパネル

① ヘッドホン出力	モニター用のヘッドホンを接続する端子です。
② LINE/SPDIF出力	アナログLINE出力 (L/R)、S/PDIF出力用の端子です。
③ XLR/AES出力	アナログXLR出力 (L/R)、AES出力用の端子です。
④ SDI出力	3G/HD/SD-SDI出力用の端子です。
⑤ HDMI出力	HDMI出力用の端子です。
⑥ USB Type-Cコネクタ	PCと接続し、機器の設定、ファームウェアに使用します。
⑦ DC電源入力コネクタ	付属のACアダプタを接続します。



## DIPスイッチ

② ビデオ入力インターフェースの選択 (Video In) (UP: SDI入力 / DOWN: HDMI入力)

ビデオ入力インターフェースの選択	DIPSW [2]
SDI入力を選択	UP ↑
HDMI入力を選択	DOWN ↓

③ 音声入力の選択 (Audio Input Source)

※選択された音声入力の1-2CHをすべての音声出力インターフェースの1-2CHに割当てます。

音声入力の選択	DIPSW [3]	DIPSW [4]	DIPSW [5]
SDIエンベデッドオーディオ入力	UP ↑	UP ↑	UP ↑
HDMIオーディオ入力	UP ↑	UP ↑	DOWN ↓
アナログLINE入力 (L/R)	UP ↑	DOWN ↓	UP ↑
アナログXLR入力 (L/R)	UP ↑	DOWN ↓	DOWN ↓
S/PDIF入力	DOWN ↓	UP ↑	UP ↑
AES入力	DOWN ↓	UP ↑	DOWN ↓
マイクホン入力	DOWN ↓	DOWN ↓	UP ↑
未使用	DOWN ↓	DOWN ↓	DOWN ↓

④ LINE出力とS/PDIF出力の選択 (Audio Output1) (UP: LINE出力 / DOWN: S/PDIF出力)

LINE出力とS/PDIF出力の選択	DIPSW [6]
アナログLINE出力 (L/R)	UP ↑
S/PDIF出力	DOWN ↓

⑤ XLR出力とAES出力の選択 (Audio Output2) (UP: XLR出力 / DOWN: AES出力)

XLR出力とAES出力の選択	DIPSW [7]
アナログXLR出力 (L/R)	UP ↑
AES出力	DOWN ↓

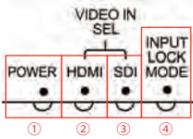
⑥ 出力ビデオフォーマットの選択 (Output Format)

出力ビデオフォーマットの選択	DIPSW [8]	DIPSW [9]	DIPSW [10]
1920x1080 p59.94	UP ↑	UP ↑	UP ↑
1920x1080 p50	UP ↑	UP ↑	DOWN ↓
1920x1080 p29.97	UP ↑	DOWN ↓	UP ↑
1920x1080 p23.98	UP ↑	DOWN ↓	DOWN ↓
1920x1080 i59.94	DOWN ↓	UP ↑	UP ↑

## DIPスイッチ

出力ビデオフォーマットの選択	DIPSW [8]	DIPSW [9]	DIPSW [10]
1920x1080 i50	DOWN ↓	UP ↑	DOWN ↓
1280x720 p59.94	DOWN ↓	DOWN ↓	UP ↑
720x480i59 (525i)	DOWN ↓	DOWN ↓	DOWN ↓

## LED表示



LED	名称	表示内容
①	Power	電源及びビデオ入力の状態を表示します。 緑点灯: 電源は正常です。 青点灯: ビデオ入力が入っていません。
②	VIDEO IN SEL - HDMI	HDMI入力が選択されているかどうかを表示します。 緑点灯: HDMI入力が選択されています。 消灯: HDMI入力は選択されていません。 ※HDCP信号入力時も緑点灯しますが、入力信号は黒画面になります。
③	VIDEO IN SEL - SDI	SDI入力が選択されているかどうかを表示します。 緑点灯: SDI入力が選択されています。 消灯: SDI入力は選択されていません。
④	INPUT LOCK MODE	ビデオ入力同期モードの状態を表示します。 緑点灯: ビデオ入力同期モードで、入りに同期しています。 青点灯: ビデオ入力同期モードですが、入りに同期できていません。 消灯: フリーランモード

## ユーティリティソフトウェア【Box Center】

本機器とWindows PCをUSB接続することで、入出力情報の表示等が可能となる、WindowsアプリケーションのユーティリティであるBoxCenter Proを用意しております。  
弊社ホームページ(https://www.mediaedge.co.jp/support/download/)からダウンロードの上、ご利用ください。

対応動作環境  
Windows10 / Windows 11

PCへのインストール方法  
ダウンロードしたZIP形式ファイルを同一フォルダに展開してください。Box Center Pro.exeをダブルクリックするとユーティリティが起動します。

PCとの接続方法  
USB Type-C – USB Type Aケーブルを用意いただき、本機のUSBコネクタとPCのUSBコネクタを接続します。Windows HID準拠ドライバを使用するため、初回接続時に自動で標準HIDドライバにより認識されます。

使用時の注意事項  
本ユーティリティは、複数のコンパータを接続して同時に制御することはできません。また従来のBoxCenter, Upload Firmware.exeなどと同時に使用することもできません。同時に開いている場合は閉じてください。

はDIPSWモードの場合に、DIPSWで設定する必要があることを表します。

-----Information-----

- BoxCenter Pro Ver.: BoxCenter Proのバージョンが表示されます。
- Control Mode: VPC-WX5EAのコントロールモードが表示されます。(DipSwitch / USB)
- Video Input Source: 選択されているビデオ入力が表示されます。
- HDMI Input Format: HDMI入力信号の解像度、フレームレートが表示されます
- HDMI Input Color: HDMI入力信号のカラーフォーマットが表示されます
- SDI Input Format: SDI入力信号の解像度、フレームレートが表示されます。
- Aspect Ratio: アスペクト比の設定が表示されます。
- Select Input Line In / SPDIF: コネクタを共用するLINE入力とS/PDIF入力の内、選択されている方を表示します。
- Select Input XLR/AES: コネクタを共用するXLR入力とAES入力の内、選択されている方を表示します。
- Select Output Line Out / SPDIF: コネクタを共用するLINE出力とS/PDIF出力の内、選択されている方を表示します。
- Select Output XLR / AES: コネクタを共用するXLR出力とAES出力の内、選択されている方を表示します。
- Output Format: SDI出力・HDMI出力の解像度・フレームレートが表示されます。
- HDMI Output Color: HDMI出力のカラーフォーマットが表示されます (RGB444/YCbCr444/YCbCr422)
- FW Version: マイコンファームウェアのバージョンが表示されます。(括弧内はFPGAバージョン)
- Refresh: Refreshボタンを押すことで表示されているInformationの情報が更新されます。



## ユーティリティソフトウェア【Box Center】

<ダウンミックスの設定>ダウンミックスはDMixAとDMixBの2つ設定可能です。

1. Output Interfaceから DMixAまたはDMixBを選択します。
2. Output ChannelおよびSelect Input Channelにて、チャンネルごとに音声入力を割当てます。(例: DMixAにはSDI入力の偶数チャンネル、DMixBには奇数チャンネルを割当て。割当てのないチャンネルにはMute Channelを割当てる。)
3. 割当てた CH1からCH8の音声が、ダウンミックスされて DMixA またはDMixBに設定されます。
4. Output InterfaceにてSDIなどを選択し、任意のOutput ChannelにDMixAまたはDMixBを割当てます。(例: SDI 出力のCH1にDMixA, CH2にDMixBを割り当て、その他のCHはMute Channelを割当てる。)

-----Gain-----

音声入力のゲインを調整します。入力レベルが低すぎる場合や高すぎる場合に使用します(0 – 255)。 (初期値: 128)

※チャンネルボタンを押すと初期値に戻ります。

※pairsにチェックを入れると同時に設定できます。

▶255: 2倍、 128: 1倍、 64:1/2倍、 0:0倍(Mute)



-----Volume-----

音声出力のボリュームを調整します。 (初期値: 128)

※チャンネルボタンを押すと初期値に戻ります。

※pairsにチェックを入れると同時に設定できます。

▶255: 2倍、 128: 1倍、 64:1/2倍、 0:0倍(Mute)



-----Proc Amp-----

出力映像の調整を行うことが可能です。 (初期値: 128 ※Sharpnessは0)

•Brightness: プライツネス調整(輝度信号のオフセットを変更)

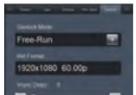
•Contrast: コントラスト調整(輝度信号のレベルを変更)

•Hue: : ヒュー調整(色信号の色相を変更)

•Saturation: サチュレーション調整(色信号のレベルを変更)

•Sharpness: 輪郭を強調します。(初期値 0)

•Default: Proc Ampの設定を初期値に戻します。



-----Genlock-----

ビデオ入力への同期モードです。 出力インタフェースはビデオ入力信号へ同期します。

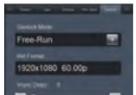
•Genlock Mode: 同期モードを選択します。(初期値: Free-Run)

▶Free-Run: 出力インタフェースはフリーランで動作します。(入りに同期しません)

▶Video Input: 出力インタフェースは入力ビデオ信号に同期します。入力ビデオ信号はVideo設定ページのInput Sourceで選択します。

•Vsync Delay: Self Inputモードの時に、Vsync信号の位相の調整が可能です。

•Hsync Delay: Self Inputモードの時に、Hsync信号の位相の調整が可能です。



## ユーティリティソフトウェア【Box Center】

-----Video-----

•Control Mode: DIPSWで選択されている設定モードが表示されます。



▶Dip Switch: DIP SW モードです。DIPSWでの設定が優先され、BoxCenter Proからは変更できません。ただし、DIPSWに割当てがない設定はBoxCenter Proで設定可能です。

▶USB: USB モードです。BoxCenter Proでの設定が優先されます。

•Video Input Source: ビデオ入力の入力ソースをSDI入力/HDMI入力から選択します。(初期値: SDI)



▶SDI: SDI入力をビデオ入力として選択します。

▶HDMI: HDMI入力をビデオ入力として選択します。

•Aspect Ratio: HDMI出力のアスペクト比を設定します。(初期値: Keep Aspect Ratio)

▶Keep Aspect Ratio: 入力フォーマットのアスペクト比を保持します。

▶Full Screen: 全画面での表示

▶16:9 : 16:9での表示

▶4:3 : 4:3での表示

▶Pan Scan 16:9: アスペクト比16:9の画を4:3のモニタに表示する場合に使用します。比を維持しながら、横方向へ引き伸ばし、左右を切り取り4:3として表示します。

▶Pan Scan 4:3: アスペクト比4:3の画を16:9のモニタに表示する場合に使用します。縦方向へ引き伸ばし、上下を切り取り16:9として表示します。

▶Dot By Dot : Dot By Dotでの表示

•Output Format: HDMI出力のフォーマットを設定します。(初期値: 1920x1080 59.94p)

▶対応フォーマットについては仕様のページでご確認ください。

•3G level B-DL: 3G-SDI出力時のLevel B-DLを有効にします。 (初期値: Disable)

▶Disable: 3 G-SDI出力のLevel B-DLは無効となり、Level Aで出力されます。

▶Enable: 3 G-SDI出力はLevel B-DLで出力されます。

•HDMI Output Color: HDMI出力のカラースペースの設定です。(初期値: RGB444)

▶RGB444: RGB 444 で出力されます。 ▶YUV444: YUV444 で出力されます。

▶YUV422: YUV422 で出力されます。

•HDMI Output Mode: HDMI出力のHDMI/DVI出力モード選択です。(初期値: HDMI)

▶HDMI:HDMIモードで出力します。 ▶DVI: DVIモードで出力します。(Informa.音は重畳されません)

•HDMI In Color Up Down Filter: HDMI入力がYCbCr444もしくはRGB(内部でYCbCr444へ変換)の色信号の処理方法を選択します。(初期値: Disable)

▶Disable: YCbCr444で処理しSDI出力に変換します。YCbCr422へのリサンプリがなく出力に偽色が出ません。ただし入力がFull Rangeの場合に色信号の+/-50%を超える部分はカットされます。(この場合も輝度信号の100%/0%を超える部分はHDMI Input Rangeの設定に依存します)

▶Enable: YCbCr422で処理しSDI出力に変換します。入力がFull Rangeの場合に+/-50%を超える色信号はカットされません。ただしYCbCr422へのリサンプリを行うため偽色が出る場合があります。

※入力がYCbCr422の場合は設定に関係なくYCbCr422で処理されるため、偽色および+/-50%を超える色信号のカットは発生しません。

## ユーティリティソフトウェア【Box Center】

•HDMI Input Range: HDMI入力(RGB)の量子化ビットレージを変更できます。(初期値 Full Range)

※YCbCr入力の場合はLimit Range固定です。

▶Full Range: 入力レンジがFull Range/Limit Rangeの場合にレンジを維持します。

▶Limit Range: 入力レンジがFull Rangeの場合にLimit Rangeに変換します。

-----Audio-----

•Input I/F selection (Line or S/PDIF): アナログライン音声入力とS/PDIF音声

入力の選択(初期値: Line)

▶Line L/R In: アナログライン音声入力を選択します。

▶S/PDIF Audio In: S/PDIF音声入力を選択します。

•Input I/F selection (XLR or AES): アナログXLR音声入力とAES音声入力の

選択(初期値: XLR)

▶XLR Audio In: アナログXLR音声入力を選択します。

▶AES Audio In: AES音声入力を選択します。

•Output I/F selection (Line or S/PDIF): アナログライン音声出力とS/PDIF音声出力の選択

(初期値: Line)

▶Line L/R Out: アナログXLR音声出力を選択します。

▶AES Audio Out: AES音声出力を選択します。

•XLR Impedance: アナログXLR入力の入力インピーダンスの設定(初期値: High 10k ohm)

▶High (10k ohm): 入力インピーダンスは10kΩです。

▶Low (600 ohm): 入力インピーダンスは600Ωです。

•XLR Input Level: アナログXLR入力の最大レベルを設定します。

設定したレベルが内部でデジタル0 dBFSとへ変換されます。

(初期値: 24dBu)

▶24 dBu, 18 dBu, 12 dBu, 6 dBu, 4 dBu, 0 dBu

-----Audio Delay-----

入力音声の遅延を調整します。映像と音声にズレがある場合に使用します。

•HDMI Audio Delay: HDMI音声入力を0-100msec遅延させます。(初期値: 0msec)

•SDI Audio Delay: SDI音声入力を0-100msec遅延させます。(初期値: 0msec)

•LINE IN / SPDIF Audio Delay: LineおよびS/PDIF音声入力を0-100msec遅延させます。(初期値: 0msec)

•XLR / AES Audio Delay: XLRおよびAES音声入力を0-100msec遅延させます。(初期値: 0msec)

※マイク入力はこの機能に対応していません。

-----Audio Channel Mapping Setting (Router)-----

※DIPSWモードの場合は使用できません。DIPSWで選択された音声入力の1-2CHがすべての出力インタフェースの1-2CHに割当てられます。音声のルーター機能です。各音声出力インタフェースのチャンネルごとに、音声入力チャンネルを割当てます。またダウンミックス音声の設定もここでを行います。を選択します。

<設定方法>

1. Output Interface: 音声チャンネルを割当てる音声出力インタフェースを選択します。

2. Output Channel: 音声チャンネルを割当てるチャンネルを選択します。

3. Select Input Channel: 割当てる音声入力チャンネルを選択します。



## 仕様

SDI入力	3G-SDI Level A Direct image format mapping (SMPT E 425M) 3G-SDI Level B-DL SMPT E ST372 Dual Link mapping (SMPT E 425M) HD-SDI (SMPT E 292M) SD-SDI (SMPT E 259M)
HDMI入力	HDMI Ver. 1.4b HDCP非対応、CEC非対応、DeepColor非対応、色空間RGB/YCbCr444/YCbCr422
SDIスルー出力	アクティブスルー(イコライザ/リロックは常に有効)
SDI出力	3G-SDI Level A Direct image format mapping (SMPT E 425M) 3G-SDI Level B-DL SMPT E ST372 Dual Link mapping (SMPT E 425M) HD-SDI (SMPT E 292M) SD-SDI (SMPT E 259M)
HDMI出力	HDMI Ver. 1.4b HDCP非対応、CEC非対応、DeepColor非対応、色空間 RGB/YCbCr444/YCbCr422切替可能
オーディオ入力	SDIエンベデッド・オーディオ(LPCM 最大8ch, 48kHz) HDMIエンベデッド・オーディオ(LPCM 最大8ch, 32kHz to 192kHz) アナログ平衡オーディオ(2ch, 最大24dBu, 入力インピーダンス200kΩ, XLR/TRS) アナログ非平衡オーディオ(2ch, 10dBV(8.94Vpp), 入力インピーダンス: 約10 k Ω, RCA) AES (LPCM 2ch, 入力インピーダンス110Ω, サンプリング周波数 28kHz~216kHz, XLR/TRS) S/PDIF (LPCM 2ch, 入力インピーダンス75Ω, サンプリング周波数 28kHz~216kHz, RCA) Mic in (2ch, 2Vpp[0.707Vrms], 入力インピーダンス 2kΩ, ステレオミニジャック)
オーディオ出力	SDIエンベデッド・オーディオ(LPCM, Max. 8ch, 48kHz) HDMIエンベデッド・オーディオ(LPCM, Max. 8ch, 48kHz) アナログ平衡オーディオ(2ch, 18dBu(6.15Vrms), 出力インピーダンス 600Ω, XLR) アナログ非平衡オーディオ(ステレオ 2ch, 8Vpp[2.828Vrms], 出力インピーダンス 0.3Ω, 負荷インピーダンス10kΩ, RCA) AES (LPCM 2ch, 出力インピーダンス 110Ω, サンプリング周波数 48kHz, XLR) S/PDIF(LPCM 2ch, 出力インピーダンス 75Ω, サンプリング周波数 48kHz, RCA) Headphone out (2ch, 4Vpp [1.414Vrms], 出力インピーダンス 0.3Ω, ステレオミニジャック) ※チャンネルのリマッピングおよびダウンミックス出力をBoxCenterProにて設定可能
入出力遅延	最大27フレーム (フレームバッファメモリアイス機能なし)
音声遅延機能	0~100msec
音声機能	チャンネルマッピング機能、ダウンミックス機能
推奨最大SDIケーブル長	3G-SDI (L-5CFB): バソゾジカル信号・カラーバー信号: 110m HD-SDI (L-5CFB): バソゾジカル信号・カラーバー信号: 180m SD-SDI (L-5CFB): バソゾジカル信号・カラーバー信号: 400m
検定済みHDMIケーブル(5m)	HDMIOS/PCANARE

## 仕様

入力端子	3G-SDI対応 75Ω BNC x 1 HDMI Type A x 1 XLR (TRS対応) (アナログXLR, AES兼用) x 2, RCA (アナログLine) x 2, ステレオミニジャック (Mic in) x 1
出力端子	HDMI Type A x 1 3G-SDI対応 75Ω BNC x 2 (同じ信号) 3G-SDI対応 75Ω BNC (SDI入力アクティブスルー出力) x 1 XLR (アナログXLR, AES兼用) x 2, RCA (アナログLine) x 2, ステレオミニジャック (Headphone out) x 1
USBコネクタ	USB Type-C x 1 (USB給電非対応)
DIPスイッチ	10bit (Control / Video in / Audio in Source / Audio out 1 / Audio out 2 / Output Format)
ケース	SECC
RoHS2	対応
寸法	W: 210mm x D: 84mm x H: 38.5mm (コネクタ含まず、ブラケット含む(着脱不可))
重量	550g
電源(ACアダプタ給電)	AC7アダプタ: AC100~240V / DC12V(2A品) 最大DC12V 827mA
電源(USB給電)	非対応
最大消費電力	11.7W (ACアダプタ含む)
動作温度範囲	0~50°C、20~80% RH ※結露なきこと
保存温度範囲	-20~60°C、5~90% RH ※結露なきこと
同梱物	VPC-WX5EA本体 専用ACアダプタ(日本国内仕様) 取扱説明書 ケーブルクランプ(HDMIケーブル用) x 2

## FAQ

Q: 出力インタフェースから音声が出ません。

A: Routerの設定で、出力インタフェースの音声チャンネルに意図した音声入力が割当てられていることをご確認ください。

Q: DIPSWコントロールモードで、チャンネル割当機能が動作しません。

A: DIPSWモードでは、出力音声チャンネルへの割当ては固定になります。任意のチャンネルに割当てる場合は、USBコントロールモードをご利用下さい。

Q: ビデオ入力同期モードはどのような場合に使用しますか？

A: SDI入力を分岐させて複数のWX5EAを使用し、多チャンネルのXLRなどの音声出力を実現する場合に、各WX5EAの出力を入力に同期させて、各WX5EA間でズレが発生しないようにする場合などに使用します。

当社製品Webページにて最新版のマニュアルをご確認ください。